

舞踊作家協会ティアラこうとう連続公演 No.196

「舞踊美術館」

2018
舞踊作家協会
連続公演
No.196

共催

公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

 ティアラこうとう

■ STAFF ■

芸術監督 ● 執行 伸 宜

照 明 ● 関 淳 子

舞台監督 ● 嵯 峨 敏 史

舞踊作家協会

〒162-0825 新宿区神楽坂2-20
Tel (03) 3268-3183 Fax (03) 3260-0871

2018年2月1日(木)

ティアラこうとう 小ホール

開演 19:00 (開場18:30)

主催 = 舞踊作家協会

共催 = 公益財団法人江東区文化コミュニティ財団



ティアラこうとう

本日はお寒い中を私共の「舞踊美術館」へようこそ！
バレエ畑の男ばかりの四人ですが、ティアラの白いキャンバスの上に、
どのような舞踊の絵を画くか、それぞれのスタイルや感覚の違いを
お楽しみ頂ければ幸いです。

芸術監督 執行 伸宜

1. 関口 啓 作品

「@Holic」 音楽／Philip Glass

今回のテーマである「舞踊美術館」……正直、僕はなかなか美術館に足を
運ぶことがありません。

今の時代ならネット通販で芸術に触れ合い事があるもおかしくはない
のでは？という切り口から物語をスタートさせてみました。

タイトルはこの作品を通じてArt-holic(芸術中毒)になって頂けたら嬉し
い、という思いから付けました。

出演

岡田 紫苑
松野 乃知
関口 啓 ((公財)スターダンサーズ・バレエ団)
笹森 聖乃 (劇団CANプロ)

2. 小林洋壺 作品

「Art of Life」

パブロ・ピカソが舞台美術を手掛けた作品の絵をモチーフに、避暑地で
戯れる美しい若たちをダンスで描きました。

出演

草間 華奈 (東京シティ・バレエ団)
石井 初美 (東京シティ・バレエ団)

3. 三浦太紀 作品

「 $\frac{\text{abstract}}{2}$ × 同時的視覚」

これは4枚の抽象画です。

テーマや意味、共通するものはもちろん、順番も存在しません。

舞台という動かぬフレームの中を、じっと一方向(客席)から凝視してい
るのではなく、まるでフレームを持って能動的に移動ができ、様々な角度
から同時に眺めているかのような錯覚が、説明的な要素をさらに希薄に
していきます。

出演

櫻井 マリ (BONANZAGRAM)
峰本 春菜 佐藤 薫 堤 頌子
林 赳志 (BONANZAGRAM)

4. 執行伸宜 作品

「ファミ・ファタール (宿命の女)」

音楽／J.S.BACH DEBUSSY Jóhann Jóhannson
衣装／ロージュ A 黒さわ彩 映像／Studio O'clock 執行真生

19世紀末、象徴主義と言われ画家達が好んでテーマにしたファミ・ファ
タール(宿命の女)。その中から恋人ハムレットの言葉に絶望して入水し
てしまうオフィーリア、そして美しい歌声で船人を誘い死に至らしめる海
の妖怪セイレーンを取り上げ踊りにしました。

この画家達の興味は眼に見えない世界を画く事でした。私が心ひかれた
のは言葉で説明出来ない世界を、動きで表現しようとする私の創作感と
似ていると感じたからです。

出演

I・オフィーリア
松井 珠緒 執行 伸宜

II・セイレーン
武井久美子 山谷 玲 深山 美香
登坂 太頼